

第3章 環境将来像

第1節 環境将来像（めざすまちの姿）

環境将来像は、津山市環境基本条例の基本理念等を踏まえ、10年後から四半世紀後の津山市のめざすまちの姿を表したもので、第1次計画策定時に掲げられた環境将来像を引き継いでいます。

【環境将来像（めざすまちの姿）】

とき
刻を積み いのちはぐくむ水、土、緑 未来につなぐ にぎわいのまち

長い歴史の積み重ねの中で、綿綿といのちを育んできた水、土、緑。
多くの自然の恵みの中で人々の営みが成り立ち、地域産業や文化が発展し、現在、私たちは豊かで快適な生活を享受しています。

しかし、豊かで快適な生活は、水質や大気、土壌汚染、ごみの問題等を引き起こし、私たちは集中豪雨や台風の巨大化等の異常気象、地球温暖化が原因とされる様々な大きな課題に直面しています。

きれいな空や大地、川面に吹く心地よい風、ゆったりとした里山里地。
このような安らぎを感じる自然豊かなまちで、自然の恵みを活用したエネルギーや資源が循環し、環境への負荷を限りなく低減させた持続可能なにぎわいのある低炭素なまち。そして、だれもが安全安心で暮らしやすい快適なまち。

私たちは計画策定に当たり、このまちに住むあらゆる世代が力を合わせ、協働により、このようなまちを未来の世代に引き継いでいく思いを新たにしました。

そして改めて私たちの思いを環境将来像に込めて表します。

「^{とき}刻を積み、いのちはぐくむ水、土、緑 未来につなぐ にぎわいのまち」

第2節 ビジョンとサブビジョン

ビジョンとサブビジョンは、環境将来像で示す10年後から四半世紀後の津山市の将来像を、【ひと】、【しぜん】、【まち】及び【しくみ】の分野別に示したものです。

【ひと】 市民や児童生徒の環境に関する意識高揚、環境に配慮した行動の実践、情報の交流等に係るもの。環境保全の根幹

【しぜん】 大気、水、土壌、森林、河川、里地等の環境に係るもの

【まち】 市民が暮らすまちの環境（まちの緑、景観、歴史、交通、市民の交流、安全、安心、地域活性化等）に係るもの

【しくみ】 環境を保全する上で必須である「環境負荷の低減」に係るもの。本計画では、エネルギーや資源の循環、廃棄物（ごみ）の排出に係る社会システムをいう。

■【ひと】分野

【ビジョン】エコな行動をする人のまち

モノとエネルギーの大量消費に依存した生活を改め、環境を大切に
した持続可能で次の世代のことを考えた生活を、自ら実行する人々
が、豊かに結びあうまちをめざします。

【サブビジョン】子どもの時から学び、共に育つまち

環境学習が、体験的、実践的に行われるとともに、伝統的な産業、
技術、文化を守り発展させ、先人の知恵を受け継いだ豊かな生活が
できるまちをめざします。

【サブビジョン】人や情報が交流するまち

人々の社会的活動が活発になり、活動する人々が結びつく場が整い、
情報が多様に行き交うまちをめざします。

【サブビジョン】環境意識を高めるまち

環境を大切にしたライフスタイルとまちを築いていく学習の機会が
提供され、お互いに学び合いながら、自ら行動する人が生まれ育つ
まちをめざします。

■【しぜん】分野

【ビジョン】安らぎの自然豊かなまち

人間が生きる基盤となる自然。その自然を敬い、保全とともに再生に取り組み、自然との豊かな結びつきを取り戻したまちをめざします。

【サブビジョン】きれいな空と大地を守るまち

自動車の排気ガスやばい煙等による大気のをれを防ぎ、様々な化学物質による汚染を減らし、汚れない大気と大地のまちをめざします。また光害のない星空や月夜が楽しめるまち、そして、資源やエネルギーの消費量を減らし自然との循環を再び築くことにより、地球温暖化に向き合っていくまちをめざします。

【サブビジョン】川面に吹く風の心地よいまち

水と川への人々の関心を高め、水の汚濁を防ぎ、美しい川と水辺に人々が親しむことができるまちをめざします。

【サブビジョン】心のふるさと里山里地の豊かなまち

里山里地や森林についての人々の関心を高め、暮らしの中に結びついた里山や遊休農地の活用を進め、多様な生物相のある里山里地や森林が活かされているまちをめざします。



■【まち】分野

【ビジョン】住んでみたいまち 住んでいたいまち

津山に暮らす人々が住んでいることを誇りに思い、そして将来にわたって住み続けたいまち、全国の人が暮らしたくなるまちをめざします。

【サブビジョン】緑があふれ歴史を感じるまち

緑あふれ潤いのある環境の中で、歴史的なまちの景観が守られ、環境を大切にされた建物、住宅が形作るまちをめざします。

【サブビジョン】未来を拓く、地産地消のまち

津山の自然や文化にあった、環境にやさしい農林業（環境保全型農林業）を振興し、地域で生産したものを、地域で消費する地域循環があるまちをめざします。

【サブビジョン】安全安心で活気あふれる楽しいまち

子ども、子育て世代、高齢者、障害者等の幅広い人たちが社会活動に参加して交流する賑わいのあるまち、また、防災や防犯への意識の高いまちをめざします。

【サブビジョン】人と環境にやさしいまち

誰にとっても住みやすいユニバーサル・デザインがなされ、公共交通と自転車、そして何より歩行者が優先される、人間本位のまちをめざします。また、日常生活で発生する音、ごみやペットの臭い、家や庭の手入れなどに、お互いが配慮しながら、気持ちよく暮らしていけるまちをめざします。



■【しくみ】分野

【ビジョン】持続可能な低炭素のまち

エネルギーや資源を大切にすることで消費量を減らし、人間界だけではなく自然との循環を再び築くとともに、環境保全型地域産業の発展するまちをめざします。

【サブビジョン】エネルギーや資源の地産地消を進めるまち

地域資源である木質バイオマスの活用、太陽光発電や小規模水力発電など再生可能エネルギーの導入推進、地域資源を活用したカーボン・オフセットの取り組みが行われるとともに、これらの環境保全につながる産業の振興により、地域活性化がなされているまちをめざします。

【サブビジョン】省エネルギーを進めるまち

化石燃料への依存を減らし、地域全体として省エネルギーの意識が向上し、行政・市民・事業者・市民団体それぞれの立場で省エネルギーが推進されているまちをめざします。

【ビジョン】資源のまわる美しいまち

モノや資源を大切に消費量を減らし、循環型社会を構築するとともに、ごみのポイ捨てや不法投棄のない、美しいまちをめざします。

【サブビジョン】ごみを減らし、資源の循環するまち

第一にごみの発生そのものを少なくし、次に再利用・再使用を行い、そして再資源化に取り組み、ごみそのものが少ないまちをめざします。

【サブビジョン】ごみの落ちていない美しいまち

ごみのポイ捨て防止と適正処理についての啓発を進め、不法投棄を取り締まります。一方で公共の場所での清掃活動を推進し、ごみの落ちていない美しいまちをめざします。